

葉脈（ようみゃく）とは？



ヒイラギの葉脈



ヒイラギモクセイの葉脈

葉脈とは、葉に通っている筋（すじ）のことです。植物の体の中で水や栄養分の通り道となり、葉をしっかりと支えるという重要な役割（やくわり）があります。動物に例えると血管と骨のようなものです。内部はストローのような管（くだ）の集まりになっています。

植物の種類によってそれぞれ特徴（とくちょう）があり、とてもきれいな形や模様（もよう）をしています。葉全体に網目（あみめ）のように張りめぐらされているものや、一つ一つが交わずに平行に通っているもの、イチヨウなどは二つに分かれるような模様をしています。

葉脈の部分は、周りの部分よりもやや強く、丈夫（じょうぶ）になっているため、アルカリ性の水酸化ナトリウム水溶液（すいようえき）などで処理（しより）すると、上の写真のように葉脈だけをきれいに残すことができます。